



編集兼発行
公益財団法人 小笠原協会
東京都港区海岸1-12-2
竹芝客船ターミナル2階
電話 03-3432-4921
FAX 03-3432-4487
振替貯金口座(郵便)
00190-9-64610
みずほ銀行芝支店
普通 3242428



小笠原協会会長
渋井 信和



小笠原旧島民・島民の皆さま、賛助会員をはじめ小笠原に関わられるすべての皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年(令和6年)は元旦早々に能登半島を中心とするM7.6の大地震が発生し400人以上の住民の方々が亡くなり、1年経過した現在も未だに復興道半ばです。さらに、8月にはM7.1の日向灘地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報が発令されるなど、地震大国日本を改めて思い起こさせる一年でした。

このような大地震が起きるたびに、地震による津波災害が起きやすい小笠原の防災対策のさらなる充実を願うものであります。

昨年は1944年に小笠原諸島の島民が戦争による惨禍を避けるために本土へ強制疎開されたから80周年という節目の年でした。

小笠原協会といたしまして、このような戦争の惨禍の

歴史が時の経過とともに忘れ去られることが無いよう、強制疎開を経験した旧島民及びその子孫16人の方々の証言を記録としてまとめ、冊子「小笠原」特集第69号として発刊いたしました。

さて、昨年も小笠原協会恒例の主要行事である、小笠原海運協力による小笠原訪問交流ツアーを70名の参加で実施し、コロナ感染の影響で開催できなかった交流会も小笠原村のご協力により5年振りに開催することができ、島民有志の皆さまによる伝統芸能の披露などもあって参加者一同感激の交流ツアーとなりました。

さらに昨年は、小笠原諸島の復興・発展に大きな役割を果たしてきた小笠原諸島復興開発特別措置法の5年間の延長が決定されました。この法律の目的に従来の定住の促進に加え新たに「移住の促進」が加えられました。今後は、小笠原への移住を可能にするための住環境の整備が強く求められます。

また、東京都は昨年8月に、改正特別措置法に基づいて5年間の小笠原諸島復興開発計画を策定いたしました。当協会といたしましては、微力ながら計画の実現に向け協力して行きたいと考えております。

さて、今年(令和7年)5月8日に小笠原協会が設立されてから60周年の記念の日です。

半世紀を経過した50周年記念の時のような大掛かりな行事は考えてはおりませんが、協会創立60年の基盤を作られた初代福田篤泰会長の遺徳を偲ぶとともに、節目となる年にふさわしい記念行事を早急に検討してまいりたいと考えております。

最後になりますが、小笠原協会といたしましては、今年も機関紙・特集号やホームページにより小笠原諸島の情報の提供を通じて旧島民や関係者の皆さまとコミュニケーションを図るとともに、小笠原訪問交流ツアー等を実施して小笠原の復興、発展に協力してまいりたいと考えております。

今年一年が皆さまにとりまして健康で幸せな一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

東京都知事
小池 百合子



新年、明けましておめでとうございます。本年が小笠原の皆様にとって、希望に満ちた幸多き年でありますよう、

心からお祈り申し上げます。小笠原協会の皆様には、日頃から旧島民の方々への帰島相談や援護活動、また、小笠原を愛する多くの人たちとの交流を深める小笠原交流ツアーの企画などを通じて、その復興に大きく貢献いただいております。長年にわたり積み重ねてこられたご尽力に、深く敬意を表します。

東京都は、返還以来、小笠原諸島復興開発特別措置法に基づき、5年ごとに小笠原諸島復興開発計画を定め、生活、交通、産業基盤の整備を重点的に進めてまいりました。

村民の皆様や関係者の皆様のご努力により、社会資本の整備や産業の振興などで相応の成果を上げています。一方で、本土との交通アクセスの改善や生活基盤の整備、島内産業の活性化などに、依然として解決すべき多くの課題を残しております。昨年3月には、特別措置法が5年間の期限延長となりました。これを受けて、8月に令和6年度から10年度までの復興開発計画を新たに策定しました。

本計画では、「生活環境の整備・産業の振興による移住・定住の促進」、「小笠原諸島内外の交通アクセスの整備」、「自然環境の保全・再生」の3つを柱に事業を着実に進め、住民生活の安定・福祉の向上、移住・定住の促進を図ることで、その自立的発展を目指すこととしています。

昨年、宮崎県日向灘を震源とする地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されるなど、大規模災害への備えも急務です。計画にも、防災対策の一層の充実を掲げており、災害への対応力の強化を図ってまいります。小笠原航空路の開設は、島

民生活の安定と国境離島である小笠原諸島の自立的発展、住民の安心・安全を守るという観点から、計画においても、最重要課題に位置付けました。東京都は、飛行場の建設に向けて、候補地である洲崎地区における具体的な配置や構造・工法等を検討し、候補となる航空機の詳細な機体性能の情報収集なども進めています。また、世界自然遺産である小笠原では、貴重な自然環境の保全との両立が最も重要な鍵となります。ユネスコ等が発行したガイドラインが求める厳格なアクセスメントの実施に向けた準備のために、調査検討を行っています。国や小笠原村とも緊密に連携し、早期開設への歩みを着実に進めます。

太平洋戦争末期の激戦地となった硫黄島の住民の強制疎開からは、昨年で80年を迎えました。ふるさとに帰島できない旧島民の方々のために硫黄島墓参事業を実施しております。昨年10月の宿墓参には過去最大の44名にご参加いただきました。今後も、硫黄島の歴史を決して風化させることのないよう、取り組んでまいります。

また、我が国最南端、最東端に位置する沖ノ島、南鳥島は、国家レベルの重要性を有する国境離島です。両島や周辺海域の維持・保全、利活用等につながる研究調査を深め、PRイベントやシンポジウムを開催し、ウェブサイトの運営などを通じて全国に情報発信を行っています。

これからも、小笠原協会の皆様のご理解、ご協力を賜りながら、産業振興、交通アクセスや医療・福祉の向上、公衆施設の老朽化対策、南海トラフ地震に備えた防災対策など、総合的な取組を推進し、

豊かな自然環境と調和した島づくりを進めていきます。村民の皆様が笑顔で安心して暮らせる小笠原の輝く未来に向けて、共に力強く歩んでまいります。

小笠原村村長
渋谷 正昭



明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、パリオリンピック・パラリンピックやアメリカメジャーリーグなど、スポーツの分野で日本の選手の活躍に大いに元気づけられた一方で、能登半島や日向灘などでの強い地震の発生、全国各地を襲った豪雨等、大きな自然災害が多発した一年でもありました。災害により犠牲となられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された皆様の一日も早い復興を願いながら、新たな一年が安寧であることを祈念いたします。

さて、昨年3月、小笠原諸島復興開発特別措置法が改正され、令和6年から令和10年を期間とした新たな復興開発5か年計画が策定されました。

前計画より引き継がれるアクセス改善の大きな鍵となる航空路開設や復興期に整備される老朽化が進む地域インフラの更新、来るべき災害への備

えの強化はもとより、医療教育分野などでのDX技術の活用、移住定住施策の推進など、新たな時代に即した内容となっております。国や都と綿密に協力しながら計画の実現を進めてまいります。

また、同時に第4期小笠原村総合計画の後期5か年がスタートしております。本計画で掲げる村の将来像「心豊かな暮らし続けられる島」の実現に向けて、令和7年度には、小笠原エコツーリズム推進の拠点となる小笠原海洋センターの改修整備の着工、母島における良好な住環境整備の一環として静沢第2期分譲地の実施設計、島に暮らす子供たちの将来のため、母島義務教育学校への移行、並びに引き続き父島の小中学校建築工事の着実な推進など、多くの事業を予定しております。

さらに、令和7年は、太平洋戦争終戦から80年の節目の年でもあります。戦前から戦後を語る方々が少なくなる中、この節目の年に、硫黄島をはじめとした小笠原諸島にまつわる戦争の歴史を踏まえ、戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて感じられる事業を実施したいと考えております。

また、江戸幕府の命による小笠原諸島巡検から350周年を迎えます。江戸時代の初期に卓越した航海術と測量術をもっていた嶋谷市左衛門氏が幕命を受け小笠原諸島を調査、探検し、「延宝無人島巡検記」を後世に残しました。

このことをご存知の方は多くはおられないことと思いますが、明治9年に国際的に小笠原諸島が日本領土と認められる大きな根拠となりました。

Table with 2 columns: Position (e.g., 評議員, 会長, 常務理事, 監事, 事務局長) and Name (e.g., 池田 望, 石井 正則, 稲垣 政孝, 菊池 武博, 近藤 豊久, 後藤 乾一, 佐藤 洋美, 寒川 藏雄, 杉浦 浩, 鈴木 高弘, 矢田 章, 渋井 信和, 岡部 一郎, 小暮 実, 渋谷 正昭, 田代 義一, 谷川 浩也, 森田 裕一, 若澤 美義, 鈴木 茂, 野村 文和, 齋藤 邦雄, 渡辺 通宏)

謹賀新年
公益財団法人 小笠原協会

謹賀新年

伊豆七島・小笠原諸島の金融機関

七島信用組合

理事 鈴木 孝信
 小笠原支店長 丹下 冬彦

本部・本店 〒100-0101 東京都大島町元町四一―三
 電話 〇四九九二―一六六一
 小笠原支店 〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町
 電話 〇四九九八―二七四一〇

小笠原村社会福祉協議会

会長 菊池 峰子

〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村
 小笠原村地域福祉センター内
 TEL 〇四九九八(二)二四八六
 FAX 〇四九九八(二)三四〇〇

小笠原アイランズ農業協同組合

代表理事組合長 門脇 脩
 副組合長理事 小田川 明子
 理事 小松 朗生
 松本 均
 宮川 雄二
 緒環 泰二
 濱崎 宏
 藤谷 明憲
 横山 浩一

〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村
 電話 〇四九九八(二)二九三五

関東運輸局指定民間車検工場

(有)小笠原整備工場

代表取締役 曾根 博義

〒100-2101 小笠原村父島字奥村
 TEL 〇四九九八―二二五二四
 FAX 〇四九九八―二二七七七
 E-mail seih@k5.dion.ne.jp

レンタル部
 TEL 〇四九九八―二二六二六
<http://ogasawara-rentalcar.com/>
 E-mail chichijima_ogasawara-rentalcar.com

あけましておめでとうございます

丸 子 秀 雄

代表取締役 金子 秀雄
 〒100-2101 小笠原村父島字東町
 電話 〇四九九八―二二〇三〇

観光を通じて地域作りを目指す!

小笠原ツーリスト

〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町
 電話 〇四九九八―二二七七七
 FAX 〇四九九八―二二七七四

ペンション・キャベツビーチ
 〒100-2101 東京都小笠原村父島字西町
 電話 〇四九九八―二二二二六
 FAX 〇四九九八―二二二二二

代表取締役 佐藤 文彦

小笠原フリーショップまるひ

★おみやげ・オリジナルTシャツ
文具・雑貨・生活用品



〒100-2101 東京都小笠原村父島東町
 TEL 04998(2)2042
 FAX 04998(2)2563
 代表取締役 菊池 歌子

日用品雑貨・衣料・おみやげ
鮮魚・島えび

小祝商店

社長 小祝 栄一

〒100-2101 小笠原村父島字東町
 フライキッチン 電話 〇四九九八―二二二二二
 自宅 電話 〇四九九八―二二二二二

第七潮丸

小笠原島漁業協同組合
代表理事組合長

高瀬 吉安

(組合住所) 〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村
 (組合電話) 〇四九九八―二二二二二

電気、給排水、衛生、空調、家電品販売、
コピーサービス

と き わ

本店 〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町
 TEL 〇四九九八―二二四五六
 支店 〒100-2111 東京都小笠原村母島元地
 TEL 〇四九九八―二二二二五

小笠原ダイビングセンター

スキューバダイビング
 器材販売・貸出・ガイド・水中撮影
 エアーチャージ・コンドミニウム

代表取締役 森田 康弘

〒100-2101 小笠原村父島字東町
 電話 〇四九九八―二二〇二二

第八神徳丸

亀肉販売

佐々木 隆 幸

〒100-2111 小笠原村母島字元地
 電話・FAX 〇四九九八―二二四〇八

株式会社 品川建設

代表取締役 加藤 大介

〒100-2101 小笠原村父島字奥村
 電話 〇四九九八―二二〇五六
 FAX 〇四九九八―二二〇五八

ご葬儀の際は「小笠原協会」会員価格にてお手伝いさせていただきます。
 ※お申し込みの際は「小笠原協会」会員とお伝えください。

葬儀

基本葬祭料金 20%割引
 生花 10%割引

さらにお得な 会員割引制度 もございます。
 首都圏の斎場、寺院、集会場、自宅等での葬儀も承ります。

おかげさまで創立105周年～さらに前へ
 社会福祉法人 東京福祉会
 道灌山会館 江古田斎場 ホール多摩国立

●葬儀に関わる相談・費用・式場のことなら
0120-62-1192 24時間受付 年中無休
<http://www.fukushikai.com> 東京福祉会

東京食肉市場株式会社

安全・安心でおいしいお肉は指定仲卸業者より購買できます

東京食肉市場株式会社の公式サイトでは、当市場の仲卸業者の一覧を掲載しております。



〒108-0075 東京都港区港南 2-7-19 食肉センタービル 8階
 電話 03-3740-3111 (代) FAX 03-3472-0127

民宿境浦ファミリー

遠藤 あや子

〒100-2101 東京都小笠原村父島字境浦四八
 電話 〇四九九八―二二二五〇

小笠原消費生活協同組合

生鮮食料品輸入食料品等

代表理事 瀬堀 ロツキ

〒100-2101 小笠原村父島字東町
 電話 〇四九九八―二二二四一
 FAX 〇四九九八―二二二〇二

B.I.T.C

前田商店株式会社

食料品・雑貨

代表取締役 前田 豊

〒100-2111 小笠原村母島字元地
 電話 〇四九九八―三二二二二

ホテルホライズン

〒100-2101 小笠原村父島字扇浦
 電話 〇四九九八―二二二二二

小笠原マリン

船舶用品販売及び修理
 遊覧船・コーラルシー
 LPガス業務全般

代表取締役 菊池 寛

〒100-2101 小笠原村父島字東町
 TEL 〇四九九八―二二二九一
 FAX 〇四九九八―二二二九一

小笠原観光有明会社

代表取締役 岡本 武治

〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町31番地
 電話 〇四九九八―二二二二二
 FAX 〇四九九八―二二二二二
<http://www.ogasawarakankei.com>

サクタ工務

土木工事 造成 解体

代表 作田 行啓

〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村二一五〇一
 電話・FAX 〇四九九八―二二二二二

民宿 たつみ

沖山 ルリ子

〒100-2101 小笠原村父島字奥村
 電話 〇四九九八―二二二二二

ガソリン・スタンド 小笠原商事有限公司

代表取締役 瀬堀 ロツキ

〒100-2101 小笠原村父島字西町
 TEL 〇四九九八―二二二〇七

東京都主催 硫黄島募参を実施

硫黄島は、小笠原諸島が日本に返還されてからも、活発な火山活動などのため、「一般住民の定住は困難である」とされ、強制疎開前の住民やその子孫が故郷に帰ることのできない状態になっています。そのため、東京都では、防衛省の輸送支援を得ながら硫黄島旧島民等への募参事業を年2回実施しています(1回は1泊2日の宿泊募参、1回は日帰り募参として実施)。また、小笠原村でも訪島事業を実施しています。

令和6年度は、第一回目の硫黄島募参を令和6年10月29日(火)から30日(水)に実施いたしました。

今回の参加者は総勢44名で、宿泊での募参では過去最大の人数となりました。本土からの参加者は西武池袋線稲荷山公園駅等に集合し、入間基地から硫黄島へ自衛隊輸送機で訪島しました。

硫黄島基地到着後、まず東部落跡を訪問し、天山慰霊碑を巡拝しました。その後、小学校跡地、硫黄ヶ丘を巡り、小笠原村の平和祈念会館で休息をとった後は旧酒造所跡や千島部落跡、摺鉢山を訪問、初日最後は鎮魂の丘で献花を行いました。

2日目は、銀明水・金明水、



摺鉢山

貨物搬、漂流木部落跡を訪れ、島民墓地にて供物をお供えし、献花を行いました。その後西側集団埋葬地を経て硫黄島基地に戻り、自衛隊輸送機に搭乗して硫黄島を後にしました。

参加いただいた方からは、非常に有意義な機会となったとの意見をいただいております。引き続き、旧島民の方々の心情を踏まえ、募参事業を実施していく予定です。

小笠原村主催 硫黄島海上慰霊祭を実施

令和6年度硫黄島海上慰霊祭を小笠原海運の協力のもと、10月20日に実施しました。好天のなか硫黄島島民平和祈念墓地公園の近くをゆっくりと航行しながら、海上慰霊祭を実施しました。

慰霊祭には旧島民、村立中学校生徒等45名が参加されました。



おがさわら丸船上での慰霊祭

小笠原DAY vol.10 開催 二千七百名が来場

令和6年11月24日、竹芝客船ターミナルにおいて、小笠原村観光局主催の「小笠原DAY」が開催されました。(写真)「小笠原DAY」は、小笠原ファンの祭典で、小笠原の食材を使った出店、ゲーム大会、ライブステージ、特産品の販売などに加え、「ざぶざぶざぶ〜ん〜」の掛け声と共に飛び跳ねるアグレッシブな小笠原の盆踊りなど盛り沢山の内容で、笑顔が絶えない一日でした。



令和6年10月竣工

JKK東京 東京都住宅供給公社 ファミリー向け賃貸住宅 「カームスト小笠原父島」が完成

カームスト小笠原父島は、JKK東京・東京都・小笠原村の三者協力・連携プロジェクトとして、父島においてモデル事業として建設した、ファミリー向け賃貸住宅です。(パース写真)建物には、メゾネット型住戸、4戸並び、2階建、2LDK(ロフト付)。その内、2戸は村民用となっています。入居予定時期は、令和7年3月以降。



小笠原アンバサダーと一緒に小笠原の魅力を発信

父島だより 赤間昌子

北袋沢とハツ瀬川
昨年末から小港海岸入口ロータリーの舗装工事やハツ瀬川遊歩道の防護柵工事に関わっているため、今回は、北袋沢エリアのことを書きま

す。現在は、小港海岸入口ロータリーまで道路があります。が、返還当時はどうやって行けたのか?どんな道だったのか?気になります。

小港海岸にはどう行く?
返還後1〜2年のころの話ですが、小港海岸に行くには、山道を歩ける靴を履き、ジープに乗り込み、舗装されていないガタガタ道やところどころブルドザーで木々をなぎ倒して作った道を走って行

たそうです。現在の長谷橋の下をのぞき込むと当時利用していたもう一つの橋があります。よく見るとジブリ映画のラピュタを思い浮かべてしまうような造りです。その橋を越えたら袋沢トンネルがあります。が、ジープが通れるくらいに大き

さで今にも崩れそうなトンネルを通り、現在の畑や公園があるエリアに出ます。車で行けるのは、現在の小港駐車場の辺りまでで、その先は、歩いて海岸まで行った

そう。ハツ瀬川は、父島で一番大きな川と言って良いでしょうか。流域面積約3.55km²、河川延長約1.2kmの二級河川です。

今では濁った川ですが、戦前は透き通ったキレイな川が流れていたそうです。そのため、長谷方面から流れてくる川を利用して、田んぼを作り



ハツ瀬川遊歩道の今昔

川が浜を横切ったんだよ。」と聞いたことがあります。どういうこと?と思いますよ。ね。

昔は、亀が海から小港海岸の砂浜に上がろうとすると、砂浜の真ん中を川が横切っていたため、亀は海→砂浜→ハツ瀬川→砂浜と過酷な産卵場所への道のりを行かねばなりません。ましてや、台風や大雨で川が氾濫したら産んだ卵が流される可能性もある。産卵に向いていない海岸だったそうです。

しかし、10年前、河口に設置していたブロックを撤去し、現在も大雨が降ると河口の形が変わりますが、重機を使い河口を整備し川が蛇行しないため、亀にとっては安心して産卵できる場所の一つとなつていきます。小笠原海洋センター(通称カメセンター)によると、令和6年は、約50巣が確認されたそうです。

北袋沢の農家さん

北袋沢は、現在も農地として利用されています。戦前は、周りの山の斜面にも畑を作り、ワラビなどを育てていたそうです。ワラビが育っている環境を観察してみると、水はけが良く、比較的西向きの斜面が多いように思います。環境に適していたのかもしれない。

平地での農業は、ハツ瀬川があるため水には困らなかつたのかもしれない。現在は、農業用水を引き使用しています。

余談ですが、ハツ瀬川遊歩道沿いに岸から塩ビ管が伸びているのをご存じですか。農業用水として使用して

いますが、返還後に水不足になつたことがあり、この水だけは枯れなかつたため、水を汲みに来て使用していたそうです。休憩時間に、昔はこんな

だったのかな?と想像しながら、今の景色を眺めるひとときも良いものです。

中村益美評議員の ご逝去を悼む

小笠原協会会長 洪井信和

中村益美さん、あなたから「申し訳ないけど評議員会には出席できない」との電話を頂いたのは昨年の5月下旬でした。普段、歯切れよく話すあなたの苦しそうな話しぶりでも相当病状は厳しいのだなと感じましたが、「早く病気を治してまた会いましょう」と言って電話を切りました。これがあなたとの会話の最後となってしまいました。

9月になって、「主人が9月5日に亡くなりました」と訃報の連絡を奥様から受け、驚くと同時にひとつ一緒に小笠原の思い出を語り合っておくべきだった、と残念でなりません。

中村さん、私があなたと初めて会ったのは、昭和63年8月6日の竹芝桟橋でした。東京都の人事異動であなたは小笠原支庁土木課長、私は小笠原出納事務所長で初代おがさわら丸で赴任する時でした。他に支庁長の発令を受けた大泉宏次さんも一緒でしたね。

おがさわら丸が出航すると直ぐに1等室で3人で酒を飲み始め、ぐでぐでに酔っぱらって「俺たち3人は小笠原での運命共同体だ!俺たちで小笠原を変えよう!」などと喚き散らしたもので、表敬訪問に船室を訪れた安藤村長や滋じい達は早々に引揚げ、とんでもない連中が赴任してきたもんだ、とあきれ果

てた、と後から聞きました。島に着いてからは、あなたには明るく偉ぶらない気さくな人柄で土木課職員の人気者となり、土木課以外の職員から



支庁離任式での集合写真

も慕われていましたね。休日にはよく大泉支庁長も誘って3人で宮之浜で釣りをしながらランチをしたのも楽しい思い出です。

楽しかった小笠原での2年間はあつという間に過ぎ、平成2年8月14日、二人仲良く島を後にしましたね。

内地へ帰った後も、大泉さんや土木課職員、私などよくゴルフに行ったり飲み会をやったり、小笠原の縁は切れなかつたですね。

あなたの闘病生活は多分十年以上になるのではないのでしょうか。その間、何回も土木や総務の小笠原メンバーで楽しい飲み会をやらしましたね。

昨年会った時には、元気になつたら小笠原メンバーがいる奈良へ4人で旅行に行こう、と飲んだ席で約束しましたが、今となってはそれも不可能となってしまいました。

中村益美さん、苦しかった闘病生活を終え、安らかに眠りください。そして、天国で先に逝つた大泉支庁長と飲みながら小笠原の楽しかった思い出などを語り合ってください。

皆様ありがとうございます

〜令和6年9月1日から令和6年11月30日まで

Table with 2 columns: 令和6年12月1日現在 (内は前年同月) and 令和6年11月気象状況 (内は前年同月(父島)). Rows include population statistics and weather data like highest/lowest/average temperature and precipitation.

- List of names and organizations under categories: 個人賛助会費, 新規入会者, 寄付金, 令和7年度更新手続き, 小笠原協会の活動は賛助会員の皆様方... (Supporters and donors list).

旧島民及び関係者(ご子孫、配偶者等)の方は、おがさわら丸の運賃割引対象です。割引証明をご希望の方は、小笠原協会にお電話ください。

旧島民の方へ (Old Islander Notice) with QR code and contact information for membership and discounts.

賛助会員ご加入のお願い! (Request for Donor Membership) - Encouraging new members to support the association's activities.

令和7年度更新手続きについて (Update Procedure for FY2025) - Information regarding the renewal process for donors.

「小笠原」特集第69号「旧島民の証言」が完成 (Special Issue 69 'Old Islander Testimonies' Complete) - Announcement of a new publication.

「小笠原」特集第69号「旧島民の証言」が完成 (Special Issue 69 'Old Islander Testimonies' Complete) - Detailed announcement and image of the book cover.

訃報 (Obituary) - List of recent deaths including names, dates, and ages.

あわせて、強制疎開命令の根拠文書として、東京都立大学付属図書館所蔵の東京都戦災誌にある「島嶼住民引揚実施要綱」および「引揚民保護指導要領」を掲載しています。

「小笠原」特集第69号(令和6年12月1日付)が完成しました。(写真) (Special Issue 69 (dated Dec 1, 2024) is complete. (Photo))



引証明をご希望の方は、小笠原協会にお電話ください。 (If you wish for a proof of residence, please call the Ogasawara Association.)

小笠原航路時刻表 (Ogasawara Route Schedule) (令和7年1月〜令和7年6月) - Detailed monthly schedule for routes between Tokyo, Ogasawara Islands, and Hahaione.

さあ! 母島へ行こう (Come! Let's go to Momiji) (母島への航路(ホエールライン) (令和7年1月〜令和7年6月)) - Detailed monthly schedule for the Hwaer Line routes to Momiji Island.